

JTU-HYOGO

兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

◇兵高教第36回中央委員会 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集人:兵高教書記局

子どもたちを守るために、今できること

各地から満開の桜の便りが届く中、新年度が始まりました。学校では新着任のなかまを迎え、新学期に向けての準備が着々と進められていることでしょう。兵庫県の高等学校、特別支援学校に採用されたみなさま、おめでとうございませう。兵庫の学校教育を共に支えていただくみなさまを心より歓迎いたします。子どもたちの豊かな学びを保障し、一人ひとりが尊重され安心していきいきと過ごせる学校をつくるために、力をあわせてとりくんでいきましょう。

子どもたちをとりまく環境は、年々厳しさを増しています。新自由主義的価値観が跳梁跋扈し、格差は広がり、社会的課題が山積する中、「自己責任論」で弱者を切り捨てる風潮は一向に収まりません。長期間に及ぶ新型コロナウイルス感染症の拡大は、とりわけ社会的弱者にとって深刻な影響をもたらしています。子どもの自死は2020年に過去最悪の件数を記録し、2021年も過去2番目の件数となっています。

2月24日に始まったロシア・プーチン政権のウクライナ侵攻により、子どもたちを含む一般市民が多数犠牲になっていることに、心を痛めておられる方々も多いことでしょう。かろうじて生き延びた子どもたちも、住む家や家族を失ったり、家族と離れ離れになったり、きわめて過酷な状況に置かれています。ウクライナだけではなく、ミャンマー・パレスチナ・シリア・アフガニスタン・イエメン・ナイジェリアその他、世界各地で同様の危機に瀕している子どもたちは少なくありません。

このような内外の深刻な社会情勢の下で、私たち教職員は何をなすべきなのでしょう。あまりにも多岐にわたる大きな課題を前にして、「自分一人が何か声をあげたり、行動したりしても、どうせ何も変わらない」とあきらめてはいませんか。

先日、映画「みんなの学校」の舞台となった大阪市立大空

小学校初代校長の木村泰子さんの講演を聞く機会がありました。木村さんは「学校は子どもの命以上に守るべきものはない」と強く訴えられました。私たち一人ひとりが「子どもの命を守るために」日々何を考え、何を大切にしていけるのか。こうした視点に立って、周りの教職員と語り合い、助け合い、子どもたちや保護者に寄り添い関わっていくことが大切なのではないのでしょうか。

また、木村さんは「流れる水のごとく流れるのはいともたやすい。流れに逆らって動くのは困難を極める。あなたはどちらを選びますか」とも問われました。確かに、一人で流れに逆らうのは困難かもしれませんが、志を同じくするなかまとともに、力を合わせて抗っていくことならできるのではありませんか。

私たちは教職員としての矜持を保ち、「真実を見つめ、歴史に学び、子どもたちの命と学びを守る」ために、「社会の濁流に逆らって動く」道を選びたいと思います。その基盤となるのが教職員組合であり、平和・人権・民主主義という普遍的価値を守ろうと日々とりくんでいる働くなかまや市民のみなさんとの連帯にあると言えます。

「ビリョクだけどもリョクじゃない」、これは核廃絶と世界平和を希求し、四半世紀にわたって活動を続けている高校生平和大使のスローガンです。私たちも高校生にならって、小さな声、小さな力を結集して少しずつ大きくしていきませんか。

近年、兵高教には若いなかまがどんどん増えています。平和・人権・民主主義を守り「兵庫の教育に責任を持つ」兵高教の運動に、さらに多くの教職員のみなさまが参加されることを願っています。

2022年4月

執行委員長 西村恭介

2022年度執行部
よろしくお願ひします!

本部役員選挙の結果を受け、2022年度の兵高教本部執行部体制が決定しました。

本部役員では、書記長に岩井誠さんが就任しました。また、執行委員として新たに花房周英さんに加わっていただきました。なお、今年度も引き続き、志水ひとみさんに書記局を支えていただきます。

新執行部と支部・分会すべての組合員がしっかりとつながり、地に足の着いた実践を積み上げ、兵高教運動を継承・発展させていきたいと思います。

兵庫の教育に責任を持つ教職員組合として、インクルーシブ教育の実現、学校の働き方改革の推進、様々な教育諸課題の解決、現業職員の職のあり方等、教職員をとりまく諸課題の克服にとりくみ、子どもたちにとって安全・安心な学校づくり、公正なワークルールに基づく働きやすい職場づくりをすすめていきましょう。

執行委員長(専従) 西村恭介(北須磨)

執行副委員長 足立恭信(市科学技術)

書記長 岩井誠(武庫荘総合)

書記次長 阪本真人(西宮甲山)

執行委員 清家大毅(尼崎西)

村上文章(川西緑台)

花房周英(県尼崎)

立尾 仁(視覚特支)

棟安信博(姫路西)

船脇吉広(高等特支)

西林 光(東はりま特支)

我喜屋南(上野ヶ原特支)

志水ひとみ



兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

兵高教第36回中央委員会開催

3月26日、神戸市教育会館において第36回兵高教中央委員会を開催しました。

冒頭、西村執行委員長はあいさつの中で、2年以上におよぶ新型コロナウイルス感染症の影響の下、子どもたちの安全・安心を守り、豊かな学び保障のために懸命の努力を続けている教職員への感謝の気持ちと、先日発災した福島県沖地震の被災者の方々へのお見舞いの言葉を述べた上で、「ロシア・プーチン政権のウクライナ侵攻・核兵器使用をもちらつかせた恫喝に対して厳しく非難するとともに、即時停戦・撤退を求め、また、ウクライナの危機に乗じて、憲法改悪、軍備増強、あげくには『核シェアリング』にまで言及する日本国内の一部政治勢力の動きも看過できない。戦争は最大の人権侵害であり、核と人類は共存できないことも明らか。私たちはもう一度この事実を確認し、周りの人びとも訴えていこう」「政治に無関心であっても政治は私たちのくらしや教育に深くかかわってくる。教職員として政治にコミットすることは当然である」「限られた時間ではあるが、活発かつ建設的な議論をお願いしたい」等と呼びかけました。

続いて、来賓の古賀ちかげさん(日教組特別執行委員・日政連参議院議員候補予定者)から激励のごあいさつをいただきました。

その後議事に入り、第1号議案「とりくみの経過および当面の運動方針(案)」が岩井副委員長から提案され、中央委員からは「高校通級について、教職員の間で十分に理解が進んでいない」「一人一台端末の導入が始まるが、保護者の負担が大きい。機種・アプリケーション等を指定する以上、公費負担とすべきである」「タブレット端末について、教職員用がどの程度確保されているのか、他校の状況を知りたい。現在、自己負担で購入して授業等で使用している状態である」「人事異動について、管理職によっては丁寧さを欠く強引な



主催者あいさつ



古賀ちかげさんあいさつ

2021年度末で退職された方がた

- ▼尼崎支部
 - 関根徳浩さん (武庫荘総合高校)
 - 迫田浩さん (尼崎北高校)
 - 石戸悦美さん (尼崎北高校)
 - ▼県高支部
 - 中井哲郎さん (須磨東高校)
 - 若宮和也さん (のじぎく特別支援学校)
 - ▼東播支部
 - 伊藤真史さん (東はりま特別支援学校)
 - 森脇敏晴さん (小野工業高校)
 - 外野達次郎さん (北はりま特別支援学校)
 - ▼西播支部
 - 岸博子さん (姫路聴覚特別支援学校)
 - 清瀬英夫さん (姫路しらさぎ特別支援学校)
- また、長年兵高教に貢献され、その後管理職として兵庫の教育にご尽力いただいた、安曇茂樹さん(尼崎西高校)、本間正泰さん(いなみ野特別支援学校)も退職されました。

長い間、ありがとうございました

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せないため、「退職者を囲むタベ」については状況を見つつ後日ご案内します。

対応が行われている事例がある」「非常勤講師の確保に苦労している。新学習指導要領への対応やICT機器の拙速な導入等による負担感・不安感も原因ではないか」「成績処理について、丁寧な評価を行うための時間が十分とれていない」「子どもの数が減り、教職員が減らされるが、業務量は増え続けている。余裕のない職場で、教職員の間での人間関係のトラブルも多い」「勤務校は、閉鎖的で自由にもが言えない雰囲気がある。また、校務分掌・部活指導等で本来の役割ではないのに、若手や臨時教職員に押しつけられることが多く、ストレスを感じる」「担任や養護教諭らが『いじめ』事案であると捉えても、管理職が『いじめ』であるとの認識に立たず、対応に困っているケースがある」など各学校の現状が報告され、課題を共有し、議論を交わしました。その後、会計議案を含む全ての議案が絶対多数の賛成を得、提案通り可決されました。



兵高教第36回定例中央委員会

ウクライナ子ども教育・支援のための緊急カンパにご協力をお願いします!

日教組は、ウクライナの子ども・教育支援のための緊急カンパにとりくみます。集まったカンパは、カンパの趣旨に合致する教育国際ショナル(EI)および国際労働組合総連合(ITUC)の要請に応じるかたちで拠出する予定です。

カンパ額: 任意の金額
※各分会にカンパ袋を送付します。職場のなかまやご家族・ご友人にもぜひ呼びかけてください。
集約締切: 6月25日(土)



戦争させない、9条壊すな! 5・3兵庫憲法集会

とき: 5月3日(火・祝) 13:00~14:30
ところ: みなとのもり公園 (Youtube 配信も実施)
メインゲスト: 金平茂紀さん(ジャーナリスト)



古賀ちかげ

子ども 暮らし 平和



日政連・第26回参議院議員選挙候補予定者

兵高教は、教職員一人ひとりの働きかた、暮らしかたを支援しています。